

結 果 の 要 約

- 1 平成 17 年 10 月 1 日現在の群馬県の人口は 2,024,135 人で、前回調査の 12 年に比べ 717 人、0.0%減少している。
- 2 人口を市町村別にみると、前橋市が 318,584 人(県人口の 15.7%)で最も多く、次いで高崎市が 245,100 人(同 12.1%)、太田市が 213,299 人(同 10.5%)となっており、最も少ないのは上野村の 1,535 人(同 0.1%)となっている。
- 3 人口を男女別にみると、男性が 996,346 人、女性が 1,027,789 人で、女性が 31,443 人多く、人口性比(女性 100 人に対する男性の数)は、平成 12 年の 97.4 から 96.9 と低下している。
- 4 人口を年齢別にみると、15 歳未満人口は 291,995 人(県人口の 14.4%)、15~64 歳人口は 1,314,259 人(同 64.9%)、65 歳以上人口は 416,909 人(同 20.6%)となっている。これを平成 12 年と比べると、それぞれ、0.8 ポイント低下、1.6 ポイント低下、2.5 ポイント上昇している。
- 5 15 歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男性が 62.6%、女性が 59.9%、未婚率は男性が 30.2%、女性が 21.0%となっている。
- 6 県内に在住する外国人は 34,934 人で、平成 12 年に比べ 6,395 人、22.4%増加している。
- 7 群馬県の一般世帯数は 724,121 世帯で、平成 12 年に比べ 33,149 世帯、4.8%増加している。また、一般世帯のうち 2 人世帯は 192,656 世帯(一般世帯の 26.6%)と最も多くなっている。
一般世帯の 1 世帯当たり人員は平成 12 年の 2.88 人から 2.75 人と減少している。
- 8 世帯の家族類型をみると、核家族世帯は 435,420 世帯(一般世帯の 60.1%)で、このうち夫婦のみの世帯は 143,135 世帯(同 19.8%)、夫婦と子供から成る世帯は 232,002 世帯(同 32.0%)となっている。また、単独世帯は 170,829 世帯(同 23.6%)となっている。
- 9 65 歳以上親族のいる一般世帯は 274,493 世帯(一般世帯の 37.9%)で、このうち「一人暮らし高齢者」(65 歳以上の単独世帯)は 48,843 世帯(65 歳以上親族のいる一般世帯の 17.8%)、高齢夫婦世帯^(注)は 67,172 世帯(同 24.5%)となっている。
(注)夫が 65 歳以上、妻が 60 歳以上の夫婦 1 組の一般世帯
- 10 住居の状態をみると、住宅に住む一般世帯の持ち家率は 70.4%で、平成 12 年に比べ 0.2 ポイント上昇している。また、住宅に住む一般世帯の 1 世帯当たり延べ面積は、平成 12 年の 103.6 m²から 104.2 m²と広がっている。

図1 群馬県の人口及び人口増減率の推移（大正9年～平成17年）

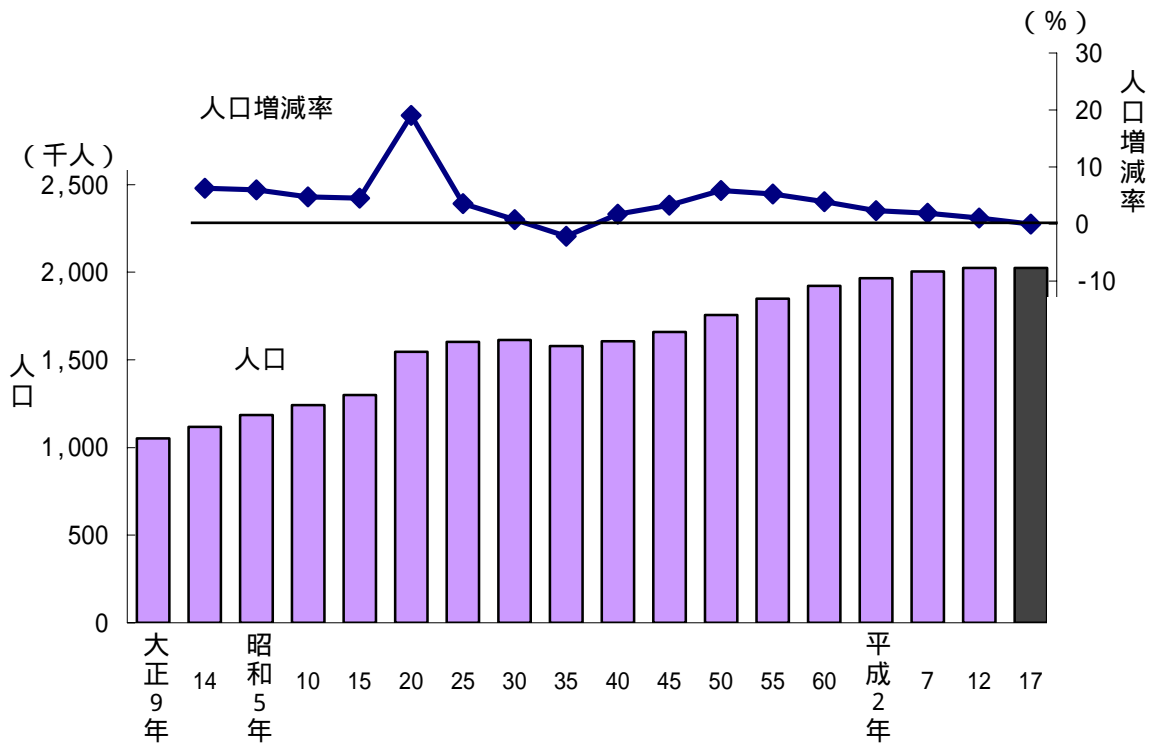


図2 群馬県の年齢（各歳）、男女別人口（平成7年・17年）

